

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が4年後に迫る。大会成功に向けて気運を盛り上げ、施設整備と準備のスピードをギアチェンジしよう！

いよいよ8月5日からリオデジャネイロオリ・パラが開幕する。東京オリ・パラもあと4年後に迫るなか、幕張メッセが会場（オリンピック3競技、パラリンピック4競技）となる千葉県でもオリ・パラに向けた準備が始まっている。

準備状況を確認してみよう。ソフト面では県が4月に東京オリ・パラ推進課を新設し、6月には公式フェイスブックページが開始され県内で実施される競技などの情報発信が始まった。千葉市の一部小学校でも車椅子スポーツ（ウィルチェアラグビーやバスケットボール）の体験・選手との交流会が実施され子供たちへの心のバリアフリー教育がスタート。事前合宿誘致では、7月に知事がオランダを訪問し陸上・柔道・トライアスロンなど合わせて22競技の受入れが決まり、準備の気運がいよいよ県内全域に広まりつつある（表1）。

このような動きの中でホテル事業者では、東京オリ・パラ後もインバウンド需要が増大することを見込んで、新規開業・増床に乗り出す動きが活発化している（表2）。

新国立競技場のデザイン見直しや都知事交代問題などもあって全体的に施設整備や準備が遅れているが、県内で行うべきことは、第一に関係者が県内で行う競技の内容を広く周知させつつさらに関心や気運を盛り上げ、会場が満員になることをまずもって目指すことである（とくにパラリンピック4競技、表3）。第二に国、組織委員会、東京都の動きとも呼応しつつ、行政が民間インフラ事業者等と協力してハード・ソフト面での受入準備を着実に進めることである。オリ・パラには競技者はもとより、その関係者や観客を含めて障がい者、高齢者、外国人など多様な人々が多く集まる。それらの人に優しいまちづくりを行うことを「東京五輪のレガシー（未来への資産）」とすることを改めて強く意識し、対応スピードをギアチェンジする必要がある。上記合宿や競技本番に向けたアクセスやトイレを含む施設を整備するうえで、とくにパラリンピック対応には時間を要することには留意が必要である。ちなみに本番会場となる幕張メッセ及び会場までのルート上では、具体的な整備計画が未だ決定していないのが現状だ。

千葉県が開催県の先陣を切って「オール千葉」で気運を盛り上げて準備を進め、ぜひとも大会を成功させよう！（大村）

(表1) 県内での事前合宿競技

合宿地	誘致国	競技	
		オリンピック	パラリンピック
山武市	スリランカ	競泳、陸上、ボクシング、アーチェリー、フェンシング、バドミントン、射撃、ウェイトリフティング	
成田・佐倉・印西市	アメリカ	陸上	
千葉市	オランダ	陸上、柔道、ボクシング	陸上、柔道、パワーリフティング
習志野市		競泳、水球、飛び込み	競泳
香取市		ボート	ボート
松戸市		自転車(トラック)	自転車(トラック)
流山市		バレーボール、ハンドボール、卓球のうち複数競技	卓球、シットイングバレーボール、車椅子バスケットボールのうち複数競技
館山市	ビーチバレーボール、水泳(長距離)、トライアスロン	トライアスロン	

【出所】千葉県、山武市

(表2) 主な県内ホテル開業・増床予定

2016年（計1,306室）				
地域	増床	ホテル名(又は事業者名)	客室数	開業時期
成田	増床	東横イン成田空港	470	16年9月
海浜幕張	増床	アパホテル 東京ベイ幕張	500	16年10月
印西牧の原	新規開業	アパホテル 印西牧の原駅前	161	16年12月
舞浜	増床	シェラトングランド東京ベイ	175	16年12月
2017年（計360室）				
成田	新規開業	ファミリー	210	17年12月
木更津	新規開業	木更津ワシントンホテル	150	17年12月
2018年（計844室）				
新浦安	増床	ホテルエミオン東京ベイ	204	18年春
新浦安	新規開業	東京ベイ東急ホテル	640	18年春
2019年				
流山おおたかの森	新規開業	スターツコーポレーション	168	19年春

【出所】各社HP

競技	説明
テコンドー	ヘッドギア、ボディプロテクターなどを装着してかかと落としや後ろまわし蹴りなどの足技で戦う。胴に蹴りが入ったら1点、そこに回転が加わると3点が入る。頭への攻撃とパンチが禁止されている点が健常者テコンドーと異なる。2020年の東京パラリンピック大会で初めて正式競技となる。
ゴールボール	アイシールド(目隠し)を着用した1チーム3名のプレーヤー同士が、コート内で鈴入りボールを転がすように投球し合い、相手ゴールにボールを入れると得点となる。前半・後半各12分で、得点の多いチームが勝利となる。選手は音に頼りに競技することから、観客は音を出さずに観戦する。
車いすフェンシング	ルールは、基本的に健常者のフェンシングと同じだが、「ピスト」という装置に車椅子を固定し、上半身だけで戦う。足を使ったフットワークを使うことができず、剣のコントロールとスピードが勝負を分ける大きなポイントとなる。選手は障がいの程度によって2つにクラス分けされ、クラスごとに競技を行う。
シットイングバレーボール	床に臀部の一部をつけ座った姿勢で行う6人制のバレーボール。ボールは一般のバレーボールを使用するが、コートは一般のものよりも狭く、ネットの高さも低く設定される。(ここで言う「臀部」とは、上体のことで肩からお尻までの部位)